



◆当面する重点作業について

1. 休眠期防除(耕種的管理・薬剤散布)を徹底する。農薬の飛散に注意する。
特に「シャインマスカット」「クイーンルージュ®」は黒とう病に弱いので注意する。
植えたばかりの苗木でも感染するので散布をしっかりと行う。
幼木で感染すると主幹・主枝の形成に大きく影響してしまうので注意する。
発生が多い園は越冬源の巻きひげや病斑をもう一度見回って除去する。

2. カイガラムシ類・クビアカスカシバ対策として、特に丁寧に主幹・主枝の粗皮剥ぎを実施する。

3. ブドウトラカミキリ・ブドウスカシバの被害枝を剪除し、焼却又は土中に埋める。
4. 側枝、種枝の誘引、結束作業の見直し点検を実施する。
5. 防霜資材を準備する。また防霜ファン施設の試運転を行う。

◆第1回薬剤散布について

1. 散布時期：3月30日(土)～4月3日(水)頃 散布日 月 日

2. 調合量：水1000ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10ml	—	—
石灰硫黄合剤	5ℓ	ハモグリダニ・ブドウサビダニ・(黒とう病)	—

3. 散布量：10a当り＝2000ℓ以上

4. 留意事項

- ① あんず等でミツバチを導入する地区では、ミツバチの導入(開花)前までに散布を終わらせる。
- ② 温暖無風の日(時)を選び、たっぷり丁寧に散布する。
- ③ ハモグリダニの発生が心配される場合は、石灰硫黄合剤を10倍(水90ℓに10ℓ)で使用する。
- ④ 黒とう病の発生が多い場合は、ベンレート水和剤200倍(水95ℓに500g)を加用散布する。
なおベンレート水和剤は溶けにくいので、ぬるま湯で溶かし直前に加用する。

◆かん水について・・・10a当り20～30ℓ程度

発芽期に水分が不足すると不発芽・発芽遅れなど発芽不揃いを起こし、その後の管理に支障をきたすため、乾燥が続く場合は、定期的にかん水を行う。

◆ぶどう出荷資材の配布について

下記日程により、先般取りまとめ致しました、ぶどう資材の配布を行ないます。
都合の付かない方は、各流通センター・共選所へご相談下さい。

《篠ノ井西部地区》※次回情報でお知らせ致します。

《篠ノ井東部地区》

開催期日	開催時間	開催場所	対象地区
3月27日(水)	午後1時30分～ 午後3時30分	東部流通センター	篠ノ井東部 全地区

《松代地区》

開催期日	開催時間	開催場所	対象地区
3月27日(水)	午前10時～午前12時	松代農業総合センター	松代全地区
3月28日(木)	午後1時～午後3時		

《更北地区》

開催期日	開催時間	開催場所	対象地区
3月28日(木)	午前9時～午前12時	真島フルーツセンター ※事務所へ	更北 全地区

《川中島地区》

開催期日	開催時間	開催場所	対象地区
3月27日(水)	午前9時～午前12時	川中島共選所	川中島

《若穂地区》

開催期日	開催時間	開催場所	対象地区
3月27日(水)	午前10時～午前12時	若穂果実流通センター	綿内
3月28日(木)	午後1時～午後3時		川田・保科

《栽培に関する問合せ》

寺澤（篠ノ井西部・信田）：080-1188-5229／外谷（篠ノ井東部）：080-8048-6602

松橋（情報担当・松代）：090-4816-6297／佐藤（川中島）：090-7179-9866

根津（更北）080-1203-8576／松澤（若穂）080-1191-5166

吉澤（全域・編集担当）：090-2543-0365／営農販売部（本所）：292-0930

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）

伊藤（篠ノ井東部）080-2239-6816／松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部／農業資材課：299-3311